

オーテピア高知図書館サービス計画 中間評価

R2.11.2 会議資料

1 計画の概要

- ・平成29年1月策定
- ・オーテピア高知図書館が『これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館』という基本理念を実現するため、県立図書館と市民図書館がそれぞれの機能と役割を果たしながら取り組むべき具体的なサービスの方向性について示したもの。

2 中間評価の概要

現計画に盛り込まれた各項目について『開館以降中核的に進めてきたサービスごとの取組』を点検し、「今後活かすべき強み」やこれまでに実施した取組の中で出てきた課題を踏まえ、ブラッシュアップする内容や課題への対応方法を『今後の方向性』として整理した。

この中間評価に加え、法改正や新型コロナウイルス感染症対策のほか、社会状況の変化も勘案したうえで、重点的に取り組むべき課題や取組の方向性を明らかにし、令和4(2022)年度からの新計画に反映させるものとする。

※1 現計画期間は、平成29年度～令和3年度

※2 今回は令和2年8月末時点データを使用(平成30年7月の開館から計画期間終了までは44か月。本年8月末は開館から24か月にあたる)

3 サービス指標の状況

・年間入館者数	令和3年度到達目標	1,000,000人	令和元年度実績	1,028,441人
・年間個人貸出点数	//	1,100,000点	令和元年度実績	1,062,438点
・レファレンス件数	//	30,000件	令和元年度実績	37,914件

開館以降中核的に進めてきたサービスごとの取組

(1) 資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)

- 利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供
- 非来館型ツールとして、電子書籍の提供体制を強化
- セルフ貸出機・セルフ予約受取コーナー・図書検索機の利用を推進
- 資料のリクエスト・他館からの取り寄せへの対応を迅速化
- オーテピアアプリの提供開始
所蔵検索から予約、予約状況の確認、予約資料到着の通知、借りている本の確認、返却日の通知、貸出延長などができるほか、読書通帳機能を備える

おうちでつかえる  電子図書館

(2) 高知県関係資料の収集・保存・提供

- 民間の出版物や行政機関作成資料といった高知県関係資料を積極的に収集
- 高知県に関連する多岐にわたるレファレンスの実施
- 県市それぞれが所有する資料のデジタル化とウェブサイトでの公開

高知市民図書館蔵 近森文庫「城山大進撃西郷決戦之図」明治10年10月9日



今後の方向性

◎はブラッシュアップ項目
◆は出てきた課題への対応項目

- ◎利用者へ資料を提供するための継続的な予算確保
- 定期的チェックにより利用のない資料を入替え
- ◆非来館型サービスの拡充(電子図書館の充実、ウェブ・サイトからの利用登録手続き、SMSサービスによる予約本到着などの情報提供、動画の作成・公開等)
- セルフ貸出機、図書検索機等の利用促進

- 高知県関係資料の継続的な収集・保存
- ◎県市それぞれが所有する資料のデジタル化・ウェブサイトでの公開を継続
(報道等への歴史的資料の提供+非来館型サービス充実)

(1) レファレンス・サービス

- ブックリスト、パスファインダーを館内外やイベント会場で配布、ウェブ・サイトで公開
- ウェブ・サイトの専用フォームなど、多様な申込方法によるレファレンス・サービスを提供



- ◎共催イベント開催等の機会を中心にブックリスト・パスファインダー作成を継続
- ◆レファレンス事例の公開に係るマニュアルの整備
- ◆数多い小中学校の図書館見学の機会を利用しレファレンス・サービスを周知
- ◆レファレンス担当職員のスキルアップ

開館以降中核的に進めてきたサービスごとの取組

(2) 課題解決支援サービス(①ビジネス・農業・産業支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス)

- 従来のデータベースに加え、利用者のニーズに沿ったデータベースを導入
- アウトリーチ担当とも協力し、専門機関や行政機関と連携したイベント、展示、セミナー、相談会等を実施。これらの機会に出前図書館や図書館のPRを実施
- パネル展・製品展示等により、関係団体の広報支援を多数実施。特に以下のコロナ関連の展示は、マスコミの注目度も高かった
 - ⇒①新型コロナ対策製品の展示を開催。展示品の中には、展示を通じて販路拡大につながったものもあった。
 - ⇒②高知大学医学部附属病院と連携し「がん患者さんの感じるコロナウイルスへの不安について」というテーマでパネル展示を開催



(3) 情報リテラシー向上支援サービス

- 図書館活用講座ほかPR活動の実施
 - ⇒関係機関のビジネス講座のカリキュラムに「図書館をビジネスに生かす」と題した内容が組み入れられた
 - ⇒県市各課のほか関係機関が実施するセミナー等で図書館活用法のPR及び出前図書館を実施。課単位での活用法の説明は、ニーズに合った説明が可能で連携事業への発展にもつながりやすくより効果的
- 図書館のさまざまな活用方法を周知するため『オーテピア高知図書館ガイドブック』を作成。県市各所属をはじめとする関係機関に配布した
- 児童向けの図書館活用動画「オーテピア探検ツアー」を新たに作成し、Youtubeで公開

(4) 行政支援サービス

- 行政機関が実施する講座や、行政職員研修等で出前図書館や図書館のPRを実施
- メールマガジンを毎月県市各課に配信し、行政向けの様々な図書館サービス情報を提供

今後の方向性

◎はブラッシュアップ項目
◆は出てきた課題への対応項目

◆データベースの利用促進

- レファレンス回答の際、必要となった資料のうち未所蔵のものは積極的に収集
- パネル展と組み合わせた図書の展示等、多様な業種への広報支援の展開
- 図書館で得た情報がビジネス等課題解決に役立った事例のチラシをマンガを活用して制作
- ◆高度なレファレンスに対応するための専門機関や団体との関係づくり
 - ・まずは県市各課、次にそこを通じて専門機関ともつながりを持つ。福祉など連携機関の少ない分野の開拓を強化

○ガイドブック等を活用した図書館活用法のPRの継続

◆非来館型の図書館活用法のPR方法の模索

○時代の潮流に合わせSNS・動画サイトを積極的に活用



◆研修等で出前図書館や図書館のPRを引き続き実施する一方、非来館型のサービスPR方法を検討

- 庁内関係機関等と連携した取組実施による効果・実績を紹介し、図書館との連携のメリットをPR

開館以降中核的に進めてきたサービスごとの取組

(1) 児童サービス

- こども向けの各種おはなし会(乳幼児向け、児童向け、手話によるもの)を定期実施
- 読み聞かせ普及のため、保護者やボランティアなどへの連続講座・勉強会を定期開催
- 出版後1年以内の児童を対象とした図書を新刊見本図書として閲覧できる『児童図書選定支援コーナー』を設置
 - ⇒申込み方法を事前のみから当日も可に変更。人数制限も緩和し利便性を向上
 - ⇒購入して3年目の本の一部を児童養護施設に寄贈

(2) ティーンズ・サービス

- 県内の高校や専門学校・大学の学校案内を収集しティーンズコーナーで提供
- 『オーテピアティーンズ部』を企画・活動開始。県内全域のティーンズが当館を中心にSNSを介して、気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことが可能

(3) 多文化サービス

- 外国語で書かれた図書や雑誌、新聞、県内外公的機関の外国語版リーフレットの収集・発行されている日本語習得用資料はほぼ収集。電子図書館でも同種資料を選定
- 多文化理解のための常設展の開催(姉妹都市や「高知を旅する」と題した展示等)
- 多言語のサービスチラシ、ブックリスト、パスファインダーを作成・提供
- 外国語のおはなし会、「多文化館内ツアー」など外国の文化にふれる機会を提供
- 非来館型サービスとして、外国語のおはなし会の動画配信を実施

(4) 図書館利用に障害のある人へのサービス

- 大活字本・LLブックは全点収集。布絵本などさわる絵本の収集
- 大活字本、LLブック、録音図書などのバリアフリー図書展示用セット『さくらバリアフリー文庫』の作成と貸出し
- 対面音訳サービスを充実(レファレンスや相互貸借にも対応、携帯電話・スカイプの活用)
- ボランティアスキルアップ講座を開催し、受講時の研修体系の差による知識・技術の偏りを是正

今後の方向性

◎はブラッシュアップ項目
◆は出てきた課題への対応項目

- こども向け基本図書の充実のため、選書の仕組みを再検討
- ◆行事への参加促進
 - 事前PRや声掛け方法を工夫。利用登録やアウトリーチの際に、保護者やボランティアなどへ読み聞かせなどについて宣伝
- 児童図書選定支援コーナーのPR
 - 関連する団体の貸室利用時や団体カード登録時、書店に協力してもらい児童図書展示会や学校への巡回時などの機会を利用
- ◆図書館見学の際、少ない人数でも対応できるよう動画の活用を検討

- 学校案内提供の周知……展示や館内サイン、広報ツール等を利用して学生へ周知し活用を促す。学校案内に限らず、ティーンズの参加できる講座やコンクール、ティーンズを支援する機関・団体の情報も継続して提供
- メンバーを増やし活動を活性化するため『オーテピアティーンズ部』を周知

- 新鮮な外国語資料の提供
- 多くの外国人が利用する場所で資料のPRを図るとともにニーズを把握する仕組みづくりを検討
- 常設展も更新しつつ継続して企画展示を実施し外国文化の理解を推進
- 「やさしい日本語」という視点で書かれた利用案内の作成・提供
- ◆イベント開催時等におけるボランティアの活用

- ◆バリアフリーサービス及びバリアフリー資料のさらなる周知
- 手話による利用案内や手話付きのおはなし会の動画を作成
- ◆特別支援学校を積極的に訪問し関係づくりに取り組む

開館以降中核的に進めてきたサービスごとの取組

(1) 市町村立図書館等への支援

- 市町村支援用の資料を購入し移動図書館、セット貸出等、各市町村の環境に合わせた方法で提供
- 物流サービスの拡充により遠隔地返却の実施が可能となり、個人利用者の便性も向上
- 物流サービスと横断検索システムの充実により、協力貸出・相互貸借を活性化
- ブロック担当司書の配置による人的支援

(2) 高知市全域サービスの拠点

- 地域の小・中学校での読み聞かせや、ブックトークなど読書支援活動を市民図書館分館・分室が実施
- 市民図書館分館・分室、移動図書館について周知
- 分館・分室職員の接遇力向上のための研修実施

(3) 県立学校図書館等との連携・協力

- 担当職員の配置により学校司書等との連携を強化
- 物流サービスの対象を全高等学校に拡充
- 研修による学校司書支援

(4) 中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携

- 中心市街地活性化への寄与・商店街との協働
⇒「得するまちのゼミナール(まちゼミ)」や「土曜夜市」への参加が定着し、集客に寄与
- 周辺の文化施設・教育施設との連携
先方の主催セミナー等で出前図書館や図書館活用講座を開催

今後の方向性

◎はブラッシュアップ項目
◆は出てきた課題への対応項目

- 市町村立図書館等支援用資料費の継続的な予算確保
- 図書館未設置町村など、厳しい環境にある市町村への支援
- 市町村立図書館に対し自館の蔵書整備を働きかけ
- ニーズを踏まえた研修実施により、県・市町村双方の職員のスキルアップを図る
- 市町村立図書館における課題解決型サービスの実施に向け、情報共有・連携を進める

- 学校・学校図書館等との連携
・アンケートを実施しニーズを調査
- ◆学校現場のニーズに合わせ貸出セットの内容を見直し
- 新規登録時などに分館・分室を紹介し利用を促進
- 移動図書館ステーション近隣の住民へのPRを強化

- 学校司書だけでなく、校長・教諭に対してもサービスを周知
・WEBから資料予約が可能となるよう検討
- ・学校のニーズを把握、それに対応した資料収集・情報提供
- 訪問活動を強化。各学校の現状把握を進め、学校司書とのネットワークを構築

- 商店街や日曜市等の効果的な情報発信
- 「まちゼミ」など、商店街と協働可能な取組の強化
- サービス関連動画の作成・公開など感染症の動向に左右されないボランティア活動の展開

会議の開催状況 ※オーテピア高知図書館開館以降

オーテピア高知図書館サービス計画推進委員会

- 平成30年度第1回 平成31年1月25日
 - ①委員会の進め方 ②オーテピア高知図書館サービス計画の取り組み状況
- 令和元年度第1回 令和元年5月31日
 - ①オーテピア高知図書館サービス計画の取り組み状況 令和元年度予算について
- 令和元年度第2回 令和元年10月21日
 - ①オーテピア高知図書館サービス計画の取り組み状況
- 令和2年度第1回 令和2年6月12日
 - ①オーテピア高知図書館サービス計画の取組状況について
 - ②次期サービス計画策定に向けたアンケート調査について
- 令和2年度第2回 令和2年11月2日
 - ①オーテピア高知図書館サービス計画の取組状況について ②次期サービス計画の策定について

高知県立図書館協議会・高知市立市民図書館協議会(同時開催)

- 平成30年度第1回 平成30年7月10日
 - ①「オーテピア高知図書館について」 ②高知県立図書館・高知市立市民図書館の平成29年度事業実績及び30年度事業計画
- 平成30年度第2回 平成31年3月29日
 - ①平成30年度事業実績について ②平成31年度予算について ③その他 オーテピア高知図書館サービス計画推進委員会の報告
- 令和元年度第1回 令和元年7月11日
 - ①平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画について ②オーテピア高知図書館サービス計画推進委員会について
 - ③来館者数100万人達成記念セレモニーについて
- 令和元年度第2回 令和2年3月 ※書面開催
 - ①令和元年度事業の取組状況について・令和2年度事業の概要について ②令和元年度第2回オーテピア図書館サービス計画推進委員会資料
 - ③オーテピアの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策状況
- 令和2年度第1回 令和2年6月30日
 - ①令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画について ②オーテピア高知図書館サービス計画推進委員会について